

「東北電力グループ中期経営方針（2017～2020年度）」の策定について ～変化をチャンスに さらなる成長へ挑戦～

当社はこのたび、「東北電力グループ中期経営方針（2017～2020年度）（以下、「本方針」とする）」を新たに策定いたしました。

東北電力グループは、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」との基本的な考え方のもと、豊かな暮らしに必要な電気をお客さまにお届けし、地域とともに成長してまいりました。

電気事業を取り巻く環境は、電力小売全面自由化に伴う競争の激化に加え、本年4月からはガスの小売全面自由化が、2020年4月には送配電部門の法的分離が予定されているなど、大きく変化しております。

本方針は、こうした激変する事業環境の中においても、東北電力グループが、東日本大震災からの復興の道半ばにある地域とともに持続的に成長していくための経営の方向性を定めたものです。

本方針では、今後4年間で「成長に向けた変革期」と位置付け、東北6県および新潟県における電気事業を柱としつつ、将来的に成長が見込まれ、東北電力グループの経営資源を生かすことのできる「東北・新潟域外での電力販売を含む電気事業」「海外事業」「ガス事業」について、定量目標を設定しました。

財務目標の確実な達成とともに、将来の成長に向けた事業展開や投資を通じて、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

具体的な事業展開にあたっては、以下の基本姿勢、3つの力点のもと、取り組みを加速してまいります。

【基本姿勢】変化をチャンスに さらなる成長へ挑戦する 東北電力グループ

- ・力点1 お客さま・地域社会の声にお応えする
- ・力点2 成長に向けた新たな事業機会を追求する
- ・力点3 変革実現により強固な経営基盤を確立する

当社といたしましては、グループ一体となって、事業環境の変化を新たな事業機会と捉え、さらなる成長へ挑戦していくことを通じて、お客さまや地域社会のご期待にお応えしてまいります。

以 上

（別紙）東北電力グループ中期経営方針（2017～2020年度）＜概要版＞